



令和6年6月28日（金）3年生 143名 4クラス 学年一斉 60分間

模擬道路で体験

スペシャルハンドルを持ち自転車にのったつもりになって一人ずつ安全走行（歩行）を体験します。自転車の左側からのります。発車時は、安全確認「右・左・右・後ろ」。見通しの悪い交差点では「止まれ」の標識と白い「停止線」で止まります。よく見えないので、少し前を出て、身を乗り出してもう一度、安全を確認。道路を渡っている時も「右・左」を確認。降りる時は自転車の左側に降ります。

GIANTストア名古屋
整備士 山上さん

ブレーキのお話
安全に走るためには
整備も必要です。



- ヘルメット3つのポイント
- 1、まゆ毛あたりまで深くかぶる
 - 2、耳の横のベルトはVの字
 - 3、あごの下は指2本分入るくらいの余裕





愛知警察署 山井さん
ヘルメットのお話

ヘルメットをかぶることで助かる命があります。
車と自転車の接触事故がありました。車のスピードはともゆっくりでしたが自転車は倒れ、のっていた人は、道路に頭をぶつけました。残念ながら亡くなりました。その人は、ヘルメットをかぶっていませんでした。
ヘルメットをかぶっていたら、助かっていたかもしれません。



車が通るかも知れないのる前に「後ろ」の安全を確認して「左側から」のります。
おりる時も「後ろ」の安全を確認して「左側へ」おります。



児童への声かけ
安全確認「右・左・右・後ろ」。
乗車時、発車時、交差点、降車時。
児童は繰り返し体験し、自分の命を守るための安全確認動作を身に付けます。



3年生の
担任の先生
4人

児童全員が体験した後は担任の先生も同じ体験を。止まって安全確認「右・左・右・後ろ」。道路を渡っている時も「右・左」を確認します。



市が洞小学校の先生
動画出演

1年生 清先生 松本先生
3年生 志賀先生 加藤先生

校区内の道路で交通安全のお手本。友だちが先に行っても、慌てずに自分で安全確認をして進みます。公園から帰る時も、自転車の場合はヘルメットをきちんとかぶります。道路には、車、自転車、他の歩行者などたくさんの方がいます。右左右後ろ、いろんな方向の安全を確認して通ります。

主催 長久手市立 市が洞小学校
受託 交通教育NPO OSCNじてんしゃスクール
指導協力 GIANTストア名古屋・愛知警察署・交通指導員・市が洞小PTA
協賛 (交通安全リーフレット提供) GIANTストア名古屋・愛知警察署
機材協力 尾張旭市

この授業は、教職員研修（7月22日）とともにOSCENが受託した事業です。

写真と文：片山



OSCEN じてんしゃスクール
www.oscn-school.org